アカウントの乗っ取りについて

SNSや無料通話アプリ、オンラインゲームなどのサービスで、アカウントを乗っ取られる事案があります。アカウントを乗っ取られると、**自分になりすまされ、不適切な投稿をされたり、サービス上のポイントやアイテムを盗まれたりする**ことがあります。また、**サービス上で友だちとなっている利用者に、商品の購入をうながすメッセージを送られるなど、周囲にまで被害が及んでしまう**こともあります。今回は、そんなインターネット上のアカウントの乗っ取りについてお話しします。

アカウントを乗っ取られる原因は？

アカウントの乗っ取り被害にあう主な原因は、他人にパスワードを知られてしまうなどの**パスワードの漏えい**です。パスワードが漏えいしてしまうケースとしては、以下のようなものがあげられます。

・名前や生年月日などの安易なパスワードを設定していて、推測される
・インターネット機器がウイルス感染し、パスワードが他人に送られてしまう
・詐欺サイトに誘導され、パスワードを入力してしまう
・「オンラインゲームのアイテムやポイントをあげるから、パスワードを教えて」といったメッセージを受け取り、他の利用者にパスワードを教えてしまう

漏えいしたパスワードを入手した乗っ取り犯は、さまざまなサービスでアカウントへのログインをこころみます。そのため、**同じパスワードを使いまわしていると、複数のサービスでアカウントの乗っ取り被害にあう可能性があります**。

悪ふざけで友だちのアカウントを乗っ取ってしまうことも

アカウントの乗っ取りを行うのは、悪意のある他人だけではありません。友だちのニックネームや誕生日などの情報からパスワードを推測して、アカウントへのログインを試みる人がいます。偶然ログインできた結果、悪ふざけで投稿を行い、トラブルになってしまうこともあります。

他人のIDやパスワードを利用してインターネット上のサービスにログインすることは、「不正アクセス禁止法」という法律に違反することもあります。たとえ友だち同士の悪ふざけであっても、絶対にやってはいけません。

アカウントの乗っ取り被害を防ぐために、以下のような対策を

・インターネット機器にセキュリティソフトをインストールする
・名前や生年月日などの推測されやすいパスワードは使わない
・インターネット上のサービスでパスワードの入力を求められた際は、必ずそのサービスの利用規約を読み、安全なサービスかどうかを確認する
・自分のパスワードを他人に教えない
・パスワードを使いまわさない（サービスごとに違うパスワードを設定する）

アカウントの乗っ取りの危険性を頭に入れて、乗っ取り被害にあう危険性を減らすための対策を心がけてましょう。また、違法となる可能性もあるため、友だちのものでも、他人のアカウントには絶対にログインしないようにしてください。

※本資料は、埼玉県教育委員会の委託により、PITCREW株式会社が作成したものです。